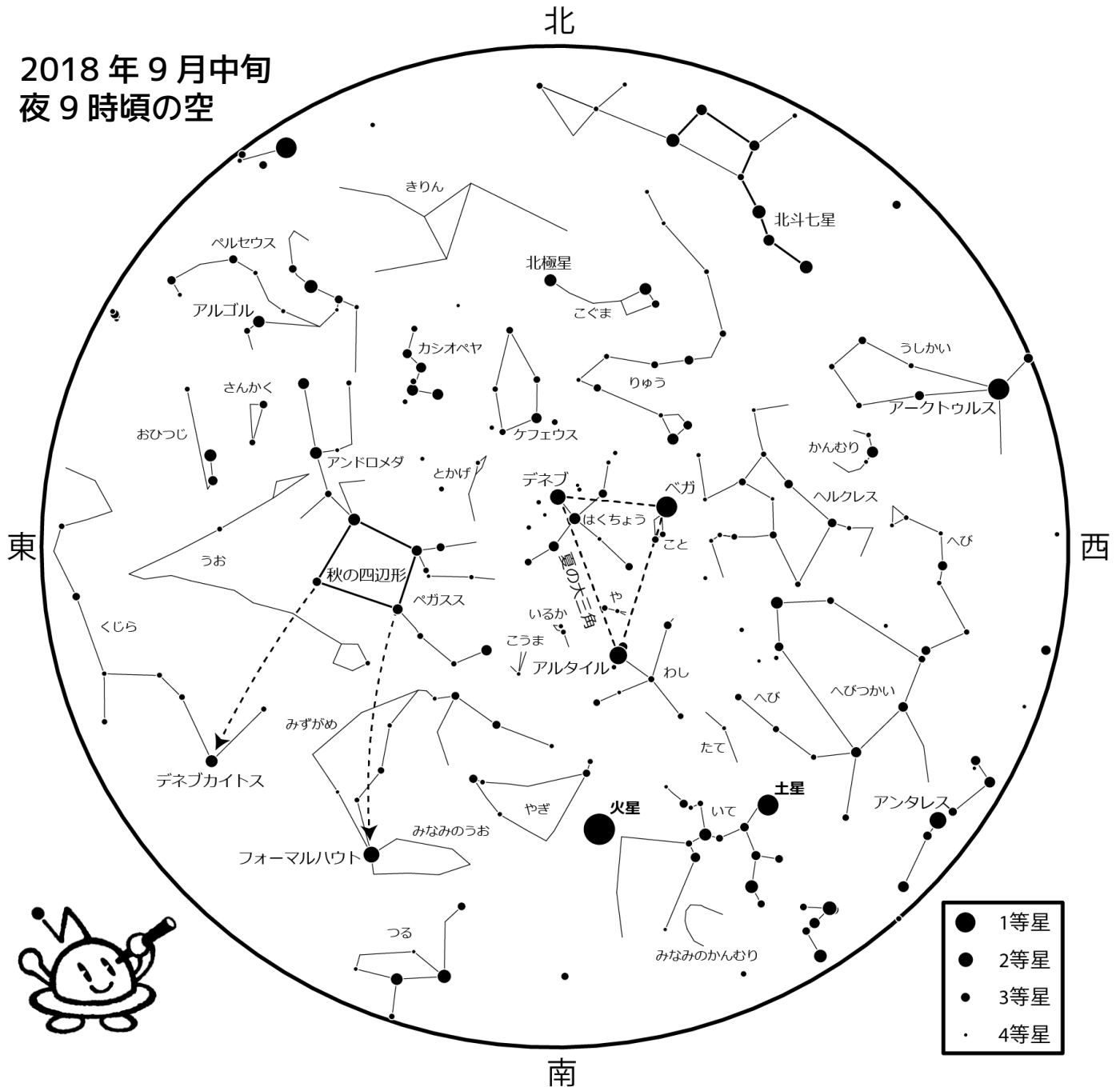


阿南市科学センター 9月の星空案内

2018年9月中旬
夜9時頃の空


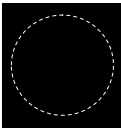




まだ夏の大きな三角が空高く見える9月ですが、夜空は少しずつ秋模様が変わっています。東よりの空にはペガサス座が昇り、ペガサスの胴体にあたる部分は秋の四辺形と呼ばれ、秋の星を探す目印にもなっています。この四辺形にある西よりの一辺を南の低空にのばしていくと、秋の唯一の1等星フォーマルハウト（みなみのうお座）、四辺形の東よりの一辺を南の低空にのばせば、くじら座の2等星デネブカイトスを見つけることができます。さらに北東の空には小学校でも学習するカシオペヤ座が昇っています。なお南から西の空にかけて、火星や土星も見つけることができるでしょう。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

名 称	下弦の月	新月	上弦の月	満月
形 状				
見える日	9月3日	9月10日	9月17日	9月25日

◇ 惑星について

名 称	水 星	金 星	火 星	木 星	土 星
見どころ	9月上旬の夜明け前、東のごく低空で見える。	日没後、西のごく低空に見える。	前半夜、南よりの空で見える。	日没後、西の低空で見える。	前半夜、南西よりの空で見える。
明るさ	約-1等	約-4.5等	-2.1→-1.3等	約-2等	約0等

◇ おすすめ天体と天文現象

【二重星アルビレオ】

アルビレオは「はくちょう座」のくちばしに位置する星(3等星)です。肉眼で見ると一つの地味な星にしか見えませんが、なんと望遠鏡で見ると二つの星が寄り添うように並んで見えます。このような天体を二重星(ダブル・スター)と言い、このアルビレオは二重星の中で最も名高い星です。アルビレオを望遠鏡で観察すると、約3等と5等の星が並び、明るいほうはオレンジ、暗いほうは青白く見え、色の対比が非常に美しく感じます。なおアルビレオは最新の研究では連星ではなく、見かけの二重星だと指摘されています。



図1: 二重星アルビレオ

【中秋の名月】

2018年の中秋の名月は9月24日(月)となっています。今年は満月のおよそ1日前、ほんの少し欠けた月となります(月齢約14)。中秋の名月は真東に近いところから昇り、南中したときの高さも45度に近く、ほど良い高度で月を眺めることができます。

中秋とは旧暦の8月15日をさし、その日に出るお月様のことを中秋の名月と呼んでいます。日本では秋の収穫が終わるところにお団子とススキをお供えし、自然に感謝する文化として親しまれています。

ところで、中秋の名月は必ずしも満月とは限りません。旧暦は月の満ち欠けをベースにしたカレンダーですが、月の満ち欠けの周期は約27.8日~31.2日と一定ではありません。そのため中秋に限らず、旧暦の十五夜(〇月15日)は、ぴったりと満月にならないこともあるのです。



図2: 2017年の中秋の名月(2017年10月4日撮影)